キャラクター名
土ノ尾　駆（つちのおかける）

プレイヤー名

シンドローム	バロール ノイマン	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	29 %
出自	疎まれた子	経験	永劫の別れ	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0	1		2
感覚	1	0	0			1
精神	5	0	0			5
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
5dx+1	ＲＣ	5r+1				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：噂好きの友人（モグラ）	
コネ：マスメディア（モグラレポの人）	
制服	
モグラのエサ	
モバイルPC	
思い出の一品（初めての友達）	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
スターゲイザー	P 好奇心	N 恐怖		
D：特異点（シンギュラリティ）	P 連帯感	N 嫌気		
近所の獣医さん	P 尊敬	N 無関心		
月夜ちゃん	P 同情	N 無関心		
春さん	P 信頼	N 無関心		
アリーさん	P 友情	N 無関心		
ちゃんイヴ	P 友情	N 無関心		

最大財産P: 6	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：相手の判定を直前でパーにする								
死神の瞳	5	3	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果：次の攻撃ﾀﾞﾒに+[LV+1]D								
黒星粉砕	5	4D10	メジャー	視界	範囲（選択）	自動	120%	
効果：[LV+5]D点のHPダメージを与える								
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：[攻撃力：（LV×2+2）]<RC>								
戦術	5	6	セット	視界	シーン	自動	-	
効果：メジャーアクションダイスをLV分+								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：対象の判定直後、達成値を[LV×3]								
ポケットディメンジョン	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：お前の立ってる地面…本物か？								
ドクタードリトル	1	-	常時	至近	自信	自動	-	
効果：俺モグラと友達だから任せて								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

◆基本るるぶ1、2のみで制作しました。

市内の高校に通うUGNエージェント。
潜在的な能力があったのか、幼少期から<ドクタードリトル>の能力により動物や虫、人間以外の生物との対話が行えた。
一般人の目にはその能力は奇妙に映り、両親を除いた親戚等の血縁一族は駆を気味悪がった。
両親に肩身の狭い思いをさせてしまったことを、幼いながらに理解し忘れることなく未だに後悔している。
小学生の時、初めて<モグラのモグちゃん>という友達ができたが、駆が学校に行っている間に車に轢かれて死んでしまった。
その死体を見た衝撃により精神が不安定となり、駆はオーヴァード化してしまった。
現在は一般家庭の人間として高校に通学しつつ教育機関は大学まで通うつもりでいる。

基本的に友達が（モグラ中心でしか）いないため、普段はやや無口で口下手。
だが、言いたいことははっきり伝えようと努めるタイプだし、友達のモグラさんに手を出そうものならすぐに真顔ですっ飛んでくる。

◆以下頂戴したHO2
キミは市内の高校に通うＵＧＮエージェントだ。
オーヴァードとなったその日からキミの人生は恐ろしいほどに変わってしまった。
ありえない偶然の連続に翻弄されながらもエージェントの任務を全うしていたキミは今、明日市の高校に通う普通の学生として日常を過ごしていた。
　そんなある日の下校中、キミは友人である練糧イヴと共に未確認飛行物体が不時着する様子を目撃する。
UFOから現れたそれは自らをスターゲイザーと名乗り、キミにこの星に訪れる破滅を告げる。